

教室掲示
お願いします

SSH 通信

第6号
平成30年11月5日発行
編集：Ⅱ年5組

科学シンポジウム

11月3日(土)に広島大学理学部・大学院理学研究科が主催している第21回中学生・高校生科学シンポジウムにASコースから2グループ(いずれも研究分野は数学)が参加しました。2グループはともにポスター発表を行いました。事前に準備をしっかりと工夫することができたので、うまく発表することができました。昼休みには広島大学の大学祭に参加して、大学の雰囲気を感じることもできました。

<荷物研究グループ>

発表題目: どうして荷物を前に持つ方がよいのか

ポスター発表では、多くの人に私たちの研究を知ってもらい、様々な反応を得ました。同世代や大学の先生たちからの、私たちだけでは思いもなかった質問・アドバイスは、刺激になり、充実した時間を過ごすことができました。実験結果については、まだまだ改善点があるため、仮説やプログラムの条件の見直しが必要であることが分かりました。今日受けた指摘を活かして、11月15日のSSH課題研究中間発表会までにより良い研究成果を出せるように精進していきたいです。



の難点などを専門の方や他校の生徒に指摘され、自分達の未熟さを痛感しました。しかし、今後の方針や可能性も教えて下さり、展望もはっきりとしてきました。

また、他校の中1～高3までの生徒の発表を聞くこともできました。中には下級生とは思えないような質の高い研究もあつたり、他校との質疑応答で思わぬところで自分たちの研究に役立つ情報が手に入ったりして、有益な時間となり、自分達の研究への意欲も貰うことができました。次の発表を間近に控えているので、それに向けてより良いものとなるよう日々の研究を進めていきたいです。



午後からは他校生徒の口頭発表を聞き、積極的に質問を行いました。研究を進めていく上でとても刺激になる1日となりました。



<桜吹雪研究団>

発表題目: 桜の花弁の落下について

私たちは「桜の花弁の落下」についての発表をしました。初の公の場での発表であり、自分たちの研究を全く知らない方々に内容を伝えることの難しさを感じました。「どうしてこのやり方をとったのか」という質問や、自分たちでは気付かなかったこの研究



(作成：Ⅱ年5組AS委員)